



◎高校生が被災地でボランティア活動

市内の高校に通う高校生が気仙沼市で東日本大震災ボランティアとして活動しました。東日本大震災被災者のために募金活動を行った高校生たちの「被災者のためにもっと何かしたい」という気持ちにNPO法人荷車の会、松原中ロータリークラブ、松原市ボランティア連絡会が共感し、実現したものです。出発時には澤井市長も激励しました(写真)。(4月28日)

◎交通事故をなくすために

春の全国交通安全運動期間に合わせて、交通安全市民大会(主催:松原市「交通事故をなくす運動」推進本部)が松原商工会議所会館で開催されました。市民大会では、澤井宏文市長や上村満松原警察署長のあいさつや、「交通安全市民の誓い」の朗読(写真)などが行われました。その後、府立大塚高校吹奏楽部による演奏や松原市体操連盟の子どもたちによるダンスが披露され、大会を盛り上げました。(5月14日)



◎“バラ”エティに富んだ催し開催

松原市民バラフェスティバルが市役所市民ロビーと市民プラザで開催されました。期間中、ローズティーなどのサービスが行われ、また14・15日にはローズウエディングや黄昏コンサート、Rose restaurant&Barやジャパンプロレス2000によるプロレスの試合などバラエティに富んだ催しと庁舎のバラを訪れた多くの人が楽しみました。(5月9～15日)



◎オーストラリアの小学生とテレビ会議

布忍小学校の児童とオーストラリアのイマニュエル小学校の児童が国際交流、国際理解を目的に、インターネットを通じて、テレビ会議を行いました。布忍小からは3年生から6年生が参加。両校の紹介映像を見たあと、児童代表がお互いにあいさつや質疑応答などを行いました。布忍小学校ではこれからも、テレビ会議を通じてイマニュエル小学校と交流を続けていきます。(5月6日)

◎市民ロビーにさわやかな音色

市役所市民ロビーで松原シティホールコンサートが開催されました。この日は林典子さん(ピアノ)と本吉優子さん(バイオリン)のジョイントコンサートが行われ、昼のひとつとき、さわやかな音色が響きました。なお、シティホールコンサートは毎月1回第4木曜日に行われる予定です。(5月19日)



◎親子で楽しみました

市内の公立幼稚園などが主催し、開催されたキッズカーニバル。会場の市民体育館では、工作やゲームのコーナー、大型紙芝居やパネルシアターなどのイベントが行われ、たくさん子どもたちと保護者が訪れました。(5月20日)



◎練習の成果を報告

4月16日に東京都で開催された「第7回全日本少年少女空手道選手権大会」(主催:NPO法人空手道POINT&KORルール協会、後援:文部科学省)で優勝など上位入賞を果たした小・中学生9人が日ごろ練習している空研塾西田道場代表者とともに澤井市長を表敬訪問しました。この大会には、全国の予選を勝ち抜いた選手が出場。小学1年生から高校生まで各クラスに分かれて日本一の座を争いました。(5月12日)



◎ハンディ乗り越え、全国初の快挙
日商簿記検定試験3級に全盲の吉田優樹さん(立部)が合格し、松原商工会議所で合格証書が伝達されました。一般の合格率が3割以下の同検定で、全盲者が合格したのは全国でも例のない快挙です。吉田さんは「同じ境遇の人の励みになればいいと思います。さらに勉強して、経理関係の仕事に就きたい」と意欲に満ちていました。(4月23日)